

2022年度 指定管理者導入施設総合評価表

【施設概要】		所管課	文化スポーツ課
施設名	世界の民俗人形博物館		
所在地	須坂市大字野辺1367-1		
施設設置目的	市民文化の向上に資するため		
施設概要・設備	鉄筋コンクリート造地上2階 延床面積950.34㎡		
建設年月	1997年8月	指定管理 開始年月	2009年4月

【指定管理概要】

指定管理者名	(一財)須坂市文化振興事業団		
指定期間	2019年4月1日～2024年3月31日		
業務内容	(1) 閲覧及び工房の利用の許可並びに許可の取消し及び停止に関する業務 (2) 施設及び備品等の維持管理に関する業務 (3) 観覧料等の徴収、減免及び還付に関する業務 (4) 文化芸術の振興及び普及のため実施する事業に関する業務		
職員体制	常勤：3名	非常勤：2名	合計：5名
(専門職、役職等内訳)	学芸員1名		

1 施設利用状況

項目	単位	目標値	実績			対前年比	対目標値
			2020年度	2021年度	2022年度		
入場者数	人	-	9,076	9,319	19,728	211.7%	
特記事項	コロナ禍により設定していない。						

2 収支の状況

単位:千円

指定管理者			市		
科目	予算額	決算額	科目	予算額	決算額
収入	指定管理料		収入	使用料・手数料	
	使用料・手数料				
	その他			その他	
	収入計			収入計	
支出	人件費		支出	指定管理料	
	需用費			修繕費	
	役務費			備品購入費	
	その他			その他	
	支出計			支出計	
管理事業損益 (a)			管理事業損益		

損益 (a) + (b) 管理事業損益 + 自主事業損益	
---------------------------------	--

特記事項	収支状況は、文化会館に含む。
------	----------------

3 自主事業の実施状況

自主事業実績	
--------	--

単位:千円

自主事業名	収入	支出	備考
合計			自主事業損益(b)

4 利用者評価

①利用者要望の把握	(1)利用者要望の把握方法(時期・方法・回答数等)
	アンケート記入方式(来館者)
	(2) 調査等の結果
	117人回答(企画展の内容評価がほとんどであった。)
②利用者からの声	(1)良好とする評価
	<p>(ドールフェスタⅢ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代の人形の作風が見れてよかった。新旧の作品が混在していて興味深かった。 ・展示がシンプルで良い。 ・人形作家展が好きで毎回来館している。作家さんの小物だが作品をお土産にしている。 ・いろいろな作家さんの独自のユニークな作品が観れてとても良かった。作家さんによって作風がまちまちで見えて楽しかった。 ・作家さんの気持ちが込められていて感動した。 ・可愛い作品ばかりでコロナ渦でほっこりできた。 <p>(三十段飾り千体の雛祭り)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に着物を着て写真が撮れた「なりきり体験」が良かった。 ・圧巻！写真より実物の三十段飾りは感動した。 <p>(全般)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の民俗衣装が観れたり、現代人形との違いが見れ興味深かった。 ・小池千枝先生の歴史・重みがあった。 ・館内で流れている映像に関連する民族人形があり面白かった。

	<p>(2) 苦情・改善の要望</p> <p>(ドールフェスタⅢ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドールフェスタ展を楽しめたが人形を触る、作る、そういった企画も欲しい。 ・スロープにある展示スペースを活用することで、もっと人形が見たかった。 ・小さい作品をもう少し高い位置に飾って欲しい。 ・今までドールフェスタ展を知らなかった。もっとPRした方がいい。 ・もう少し作家さんの説明が欲しい。作業工程なども見たい。 <p>(全般)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本古来の御所人形や長崎の人形なども観たかった。 ・息子(保育園児)も楽しめたが、もう少し幼児が楽しめる空間があると更に利用したいと思う。 ・ファッションの企画展を開いて欲しい。 ・レトロのプラモデル展示を開催して欲しい。 ・「ピエールカルダスペンサージャケット」をボディにきちんと着せてください。折角の服がいびつに見える。 ・かつて小池千枝先生の講義を受講し感動したものだが、資料室の棚の中にあるシーティングのしわが残念である。
<p>③対応措置</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・展示・企画内容へのご意見、ご要望は今後の企画の中で取り入れる等参考にする。 ・子どもが楽しめる空間として、体験コーナーや物理的スペースなど検討していく。 ・PRは紙媒体、SNS両方を利用し注力する。 ・小池千枝資料はご指摘された点を直した。

5 項目別評価			評価	評点
1	指定管理者の健全性	団体の財務状況(※営利企業のみ)や組織体制は、他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か	○	2
2	施設利用状況	施設の利用者数や稼働率は適正であるか	○	3
		施設の利用者数や稼働率を維持、向上させるための取り組みや工夫がおこなわれているか	◎	
3	財務状況・経理	指定管理業務会計と自主事業や団体の会計を区別して、適正に管理しているか	○	2
		収支予算に基づき、予算の範囲で適切な支出が行われているか施設運営に不要な経費の支出がないか	○	
		収入増加への取り組みを行い、その効果はあったか※無料施設は対象外	○	
		経費節減への取り組みを行い、その効果はあったか	○	
		経理帳簿や伝票等の保管、現金の取扱は適切に行われているか	○	
4	施設運営管理	協定書に定められた閉館日、開閉館時間等を遵守しているか	○	2
		日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	○	
		利用者が快適に利用できるよう、施設の清掃や整理整頓が行われているか	○	
		施設の備品を適切に管理しているか	○	
		必要な修繕は適切に実施され、市に報告しているか	○	
		協定書等で定められた事業計画・報告書、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	○	
		業務の第三者委託の範囲、理由、委託先は適当であるか	○	
		省資源・省エネルギー、廃棄物減量等環境への配慮がされているか	○	
5	職員体制	施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	○	2
		職員の資質・能力向上を図る取り組みや研修がなされたか	○	
		労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか	○	
6	利用者サービス	利用者に対する職員の接客マナー(言葉づかい、態度、服装等)は適切か	○	2
		障がい者、子ども、高齢者等の利用に配慮した管理・運営がなされているか	○	
		特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	○	
		地域や地域住民との交流・連携に関する取り組みを実施し、地域交流の支援を実施しているか	○	
		アンケート調査や意見箱等により、利用者からの意見や苦情等を把握し、施設運営に反映する仕組みが整っているか	○	
7	安全対策・危機管理	危険箇所の把握や対応マニュアルの策定等、事故防止や安全確保のために必要な対策が講じられているか	○	2
		事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	○	
		必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求の対応措置が講じられているか	○	
		利用者名簿等の個人情報適切に管理されるとともに、職員研修の実施等、漏洩防止の対策が講じられているか	○	

合計点 15 点

総合評価 A

評点

- ・各項目の評価に◎があり、その他は○…3点
- ・各項目の評価がすべて○…2点
- ・各項目の評価に△があり、×はない…1点
- ・各項目の評価に×がある…0点

総合評価

- A (優れている) 合計15点以上
- B (適正) 合計14点
- B' (若干の改善が必要) 合計11点~13点
- C (さらなる努力が必要) 合計10点以下

評価基準

- ◎ … 協定、事業計画に基づく管理運営や事業の適切な実施かつ期待以上の成果。
- … 協定、事業計画に基づく管理運営や事業が適切に実施されている。
- △ … 協定、事業計画に基づく管理運営の一部が予定どおり実施されていない。
- × … 協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が行われていない。

6 指定管理者による自己評価

(1)今年度の取り組みに対する評価

「三十段飾千体の雛まつり」を善光寺の御開帳に合わせ一部五月人形も展示し、「五月人形菖蒲の節句」との同時開催とし、6月28日まで開催、団体客の入館もあり、対前年度比約225%の入館者となった。「シルバニアファミリーポップアップパーク」同時開催の「世界のドールハウス展」は、スイーツフェスタ、クラフト&アートフェア、假屋崎省吾恋華めぐりなど他事業との相乗効果もあり、期間中約6,500人の入館があり、大変盛況であった。

1月からの「三十段飾千体の雛まつり」は、コロナ感染収束に伴い、雛なりきりを人数制限を設けて実施し、人気があった。

年間を通しての入館者は、対前年度比211%、約10,400人増の19,728人となり、コロナ感染症の収束に伴い、大きく増加した。

(2)課題

コロナ感染症の収束に伴い、個人の来館者は増加してきているが、県外からの団体ツアーはキャンセルが多く、なかなか元に戻ってきていない。個人客の一層の集客を図るため、魅力ある展示を企画、検討していく必要がある。SNSを活用した一層の広報の充実と若い世代、ファミリー層へのPRの強化。

開館25年を経過し、老朽化による機器の故障、施設の痛みも多く見られ、適切な維持管理が求められる。

(3)次年度以降の取り組み

「三十段飾千体の雛まつり」の展示の工夫と団体の誘客、宣伝に努める。企画展「しあわせのリカちゃん展」開催と恋人の聖地事業、ランニングフェスや関連団体の事業との連携をし、相乗効果を図りながら誘客を進める。

季節や行事に合わせたワークショップや外部講師を積極的に活用したワークショップを実施し、新たなファンの開拓に努める。

(4)その他

7 市による総合評価

(1)今年度の取り組みに対する総合評価

施設の管理状況はおおむね良好

コロナ禍の影響は少なからずあった中で、シルバニアファミリー企画展をはじめとする各種展示等を開催し、入館者の回復・増加につなげている。